



なぜ、探究活動なのか？



9月3日(月)のグローバルサイエンスで、宇都鉄則先生が、「なぜSSHで探究活動を行うのか」をわかりやすく説明されました。その内容を振り返ります。

1 激動の中にある高校生

(1) 今、世の中(地域・日本・世界)で将来を見据えて意識されていることは何ですか？

(答・例)

- ① 人口爆発と人口減少社会 ② 生態系の破壊と地球温暖化
- ③ 第4次産業革命(ICT・IoT・AI) ④ イノベーション

(2) 日本は、どの国も経験したことがない課題が山積している。→課題先進国

(3) 日本(地域ではさらに)は「持続可能な社会」(地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている社会)を創り出すための人材養成が文理問わず急務である→これからの社会を背負うみなさんにがんばって「探究」してほしい。



2 なぜ今「探究」なのか？

(1) 企業が求める人材とは? →「**答えのない課題に向き合い、解決に取り組む人間力**」

(2) 大学が求める人材とは→①一定以上の学力、②明確に学ぶ目的・意識を持つこと (**学びに向かう力**)

(3) これからの入試で求められるもの→①**成果**+②**過程(プロセス・目標に向かってどのように取り組んだか)**

=e ポートフォリオ(日々の学習や活動の記録を電子化したもの)にあらゆる活動を記録しよう!

→**学びのチャレンジの中で得たものを自覚するための「振り返り」が重要**



3 SSHとしての課題研究

(1) 来年2月のSSHテーマ設定発表会に向けてのポイント

- ① 主体性・多様性・協働性 ② リフレクション(振り返り)・自覚
- ③ サステナビリティ・地域 ④ 調査によるテーマの深化
- ⑤ 「データ」と「足」

(2) テーマ研究に向けての留意点

- ① 調査研究を行い、テーマを絞り込んでいく ② Google や Wikipedia をまとめただけではだめ
- ③ データや情報は信頼できる確かなものを ④ データは「足」で稼ごう(フィールドワーク)



全ては あなたの未来に役立つ活動です。失敗を恐れずチャレンジしよう! ステージはいくらでも高められます。



